



2013 環境報告書

Environmental Report 2013

第1章 概要

ごあいさつ	1
環境方針	2
環境への影響	3
環境目的・目標と実績	4
プラスの環境目的・目標と実績	4

第2章 環境マネジメントシステム

環境管理体制	5
監査結果	6

第3章 環境負荷低減への活動

太陽光発電システムとガスコージェネレーションの導入で電力不足に対応	7
ゴム廃棄量の削減	7
文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞	8

第4章 地域社会とのコミュニケーション

「お客様第一」に全社で取り組んだ復旧支援事業	9
滋賀労働安全衛生表彰	9
インターンシップで工学系学生を受け入れ	9

第5章 サイト別環境パフォーマンス実績表

本社	10
営業部	11
滋賀事業所	11

環境保全活動のあゆみ

アンケート

編集方針・報告書の範囲

編集方針	「環境報告書2013」は、環境省が発行した「環境報告書ガイドライン」を参考に編集しています。また、環境目的・目標や具体的な取り組み状況、サイト別の環境パフォーマンスについては、できるだけ写真やグラフを活用いたしました。
対象期間	2012年度(2012年1月1日～2012年12月31日)
対象範囲	この環境報告書は、下記事業所すべてを対象範囲としています。 ■兵神装備株式会社 本社、滋賀事業所、技術研究所、サービスアネックス、東京支店、大阪支店、さいたまオフィス、横浜オフィス、名古屋営業所、福岡営業所 ■ヘイシンテクノベルク株式会社 本社、滋賀事業所
発行部署	兵神装備株式会社 全社環境事務局 〒652-0852 神戸市兵庫区御崎本町1-1-54 TEL:078-652-1111 FAX:078-652-4504
発行日	2013年6月7日(次回発行予定:2014年6月)



兵神装備株式会社

代表取締役社長 小野純夫

東日本大震災の発生から今年3月11日で丸2年が経過し、ようやく復旧が本格化する兆しが見えてきました。当社はこの間、被災した上下水道の処理施設に向けて、破損したポンプの修理や新規ポンプの納入を最優先で押し進めてきました。

一方、2012年は前年に引き続いて東京電力、関西電力を中心に電力が不足し、当社各事業所も節電対策を余儀なくされました。特に滋賀事業所は大きな負担を強いられました。生産の前倒しや夜間電力の使用によりピーク電力を削減するとともに、太陽光発電やガスコージェネレーションといった発電システムを7月に導入することで、電力会社から要請された目標をクリアしました。今年はさらに滋賀事業所で3ヶ所、計300kW規模の太陽光発電を増設する予定です。

こうした中、当社は食品や薬品を包装機へ移送するコンパクトで残液の少ない短型ポンプ「NHL-G型」や、耐摩耗性に優れた下水汚泥用途の新シリーズ「NE88型」を開発設計し、発売しました。

このような製品開発を通じて、今後とも社会の省エネ・省資源・長寿命化に貢献していきます。

またインターンシップ研修制度による学生の受け入れや、通年の工場見学の開催、地元高校での講演参加など、地域社会とのつながりを深める動きも引き続き推進しました。

この報告書をお読みいただくことで、当社の環境保全や社会貢献の取組みをご理解いただくとともに、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

環境理念

当社は、地球環境保全を人類共通の最重要課題と認識し、環境にやさしい製品づくりを通し、事業活動のあらゆる面で、「持続的発展が可能な社会」の構築に貢献いたします。

スローガン

限りある資源を大切にし、環境にやさしい製品を創り続けます。

基本方針

当社は、広く産業界で多様なニーズに応えるハイシンモノポンプの開発・生産・販売をしています。

そして、その事業活動において環境に影響を及ぼす可能性を持っています。

私たちは、これらの環境への負荷を削減するだけでなく良い影響を与えるための組織体制・管理システムを確立し、継続的に下記の活動に取り組んでいきます。

1. 下記の項目に目標を設定して取り組み、その達成状況を確認し、状況に応じて改善していきます。
 - ① 廃棄物の削減及び適正処理
廃棄物の削減・分別収集、再利用の促進、適正処理を行います。
 - ② 排水の適正処理
化学物質の適正処理、関連装置の改善により排出物の削減と適正処理に努めます。
 - ③ 資源・エネルギーの効率利用
資源・エネルギーの効率的な利用により環境への負荷を削減し、資源のリサイクル活動・グリーン調達に努めます。
 - ④ 環境にやさしい製品の設計・開発
有害物質を排除した製品や省エネ、長寿命化製品の設計・開発に努めます。
 - ⑤ 環境製品の販売促進活動
省資源・省エネに貢献するグリーン製品の販売促進に努めます。
2. 環境法令・条例・協定、その他当社が受入を決めた要求事項に関し、社内自主基準を定め、徹底遵守いたします。
3. 環境教育、広報活動を行い、全社員が環境方針を理解し、環境保全意識の向上を図るように努めます。
4. 緊急事態発生時の環境汚染被害を最小限にするため、予防・緊急時対応に万全を期します。
5. ISO14001 に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、維持・改善に努めます。

2003年1月

兵神装備株式会社
ハイシンテクノバルク株式会社
代表取締役社長 小野 純夫

当社は、

- 「モノポンプ」の専門メーカーとして、その研究開発・設計、製造、販売、メンテナンスサービスを行っています。
- 事業所内での諸活動による環境負荷は、エネルギー消費に伴う二酸化炭素の排出、廃液、廃プラスチック、一般廃棄物が主なものです。
- 省エネルギー、廃棄物の削減、化学物質の管理を活動の柱とし、全社的なあらゆる活動において、環境負荷低減に取り組んでいます。



※CO₂排出量は、電力、ガス、ガソリン、軽油、灯油の消費量をすべて換算し、合計しました。
(各換算係数は、環境省ガイドライン、関西電力、大阪ガスのデータを参照しています。)

目的・目標と実績

2012年度行動目的	2012年度目標	2012年度実績 (対目標比)	評価
無駄な消費電力の削減	2,124,774 kWh (2010年度比4%削減)	2,087,847 kWh (1.7%削減)	○

評価 ○:目標(100%)達成 △:達成率70%以上 ×:達成率70%未満

2012年度は、電力会社からの節電要請に対応した結果、目標以上の消費電力削減を達成できました。今後も引き続き節電、省エネ化を進めてまいります。

◆ 2013年度目標

本社、滋賀事業所は、2012年度の消費電力実績の△2%を目標とする。

営業部門は、電力、廃棄物とも維持管理のレベルに移行したと判断し、省エネポンプの販売促進を新たな目標とする。

プラスの環境目的・目標と実績

前年に引き続き、省エネルギー・省資源・長寿命化製品の開発・設計・製造・販売を推進しました。

■ 食品や薬品の包装技術を支える短型ポンプ「NHL-G型」

短型ポンプ「NHL-G型」は、食品や薬品等を包装する目的で、製造ラインの包装機上部に載せて使用するポンプです。

本機は、昨年発売されたハイジェニックシリーズ「NHL型」をベースにしつつ、小型ジョイント採用により、コンパクトなサイズを実現しました。これによって包装機周りの省スペース化が図れる一方、液残量を低減することができました。また分解洗浄性も向上させています。



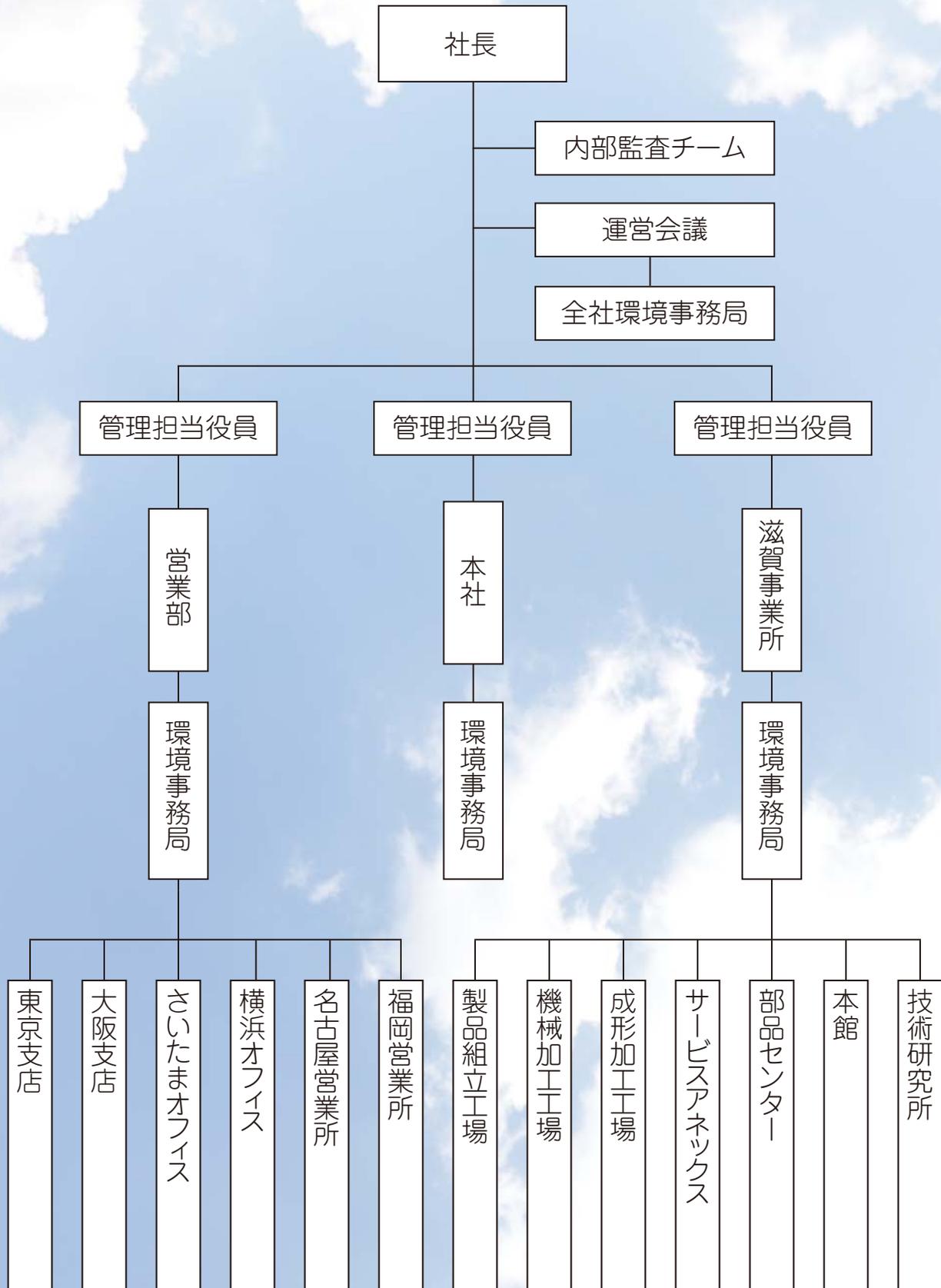
短型ポンプ「NHL-G型」

■ 耐摩耗性に優れた下水向け「NE88型」

「NE88型」は下水汚泥用途の新シリーズとして、長寿命および省エネを実現したポンプです。本製品は、ローターとステーターの接触速度を低くし、これによって耐摩耗性を向上させ、長寿命を実現しています。また当社ラインアップの上位機種「NE100型」と同等の吐出量を得ることができるため、動力を低く抑えることができ、省エネに貢献します。



下水汚泥用途の新シリーズ「NE88型」



内部監査

廃棄物処理や電力削減の状況、及び遵法確認を中心とした内部監査を実施しています。今年度は11月の監査で1件の不適合事項がありましたが、速やかに是正されフォローアップもなされており、問題なく環境マネジメントシステムが運用されていることを確認しました。



外部監査

ISO14001の更新監査が、7月23日～27日の5日間にわたり全ての拠点を対象に行われ、3年間の環境活動の実績を審査していただきました。いずれも不適合事項はなく、再認証を取得することができました。



■ 太陽光発電とガスコージェネレーションの導入で電力不足に対応

電力不足に対応し、滋賀事業所へ7月に太陽光発電システムとガスコージェネレーションシステムを導入しました。

太陽光発電は従来あった10kWに加え、さらに100kWを増設し、今夏の電力不足に対応しました。

また同時に設置したガスコージェネレーションシステムは、発電と同時に温水を取り出せるシステムで、50kWの発電を行うと同時に取り出された温水は生産ラインや冬期の暖房へ有効利用しています。



工場の屋根に設置された太陽光パネル



ガスコージェネレーション設備

これらの設備は、夏期、冬期の工場電力ピークを抑えるために使用します。また、ガスコージェネレーションシステムは、万が一ブラックアウトした場合や計画停電が実施された場合の非常用電源としても活用され、社員の安全や事業の継続のために使用されます。

■ ゴム廃棄量の削減

工場でステーターを製造する工程においてゴム成形押出機を使用していますが、この押出機と金型の連結部にゴムが通る大きな空間があり、成形毎にゴム溜まりが発生するため、これまでは多くのゴムを廃棄していました。

このたび新型のゴム成形押出機を導入するにあたって、押出機と金型の連結部の構造を見直し、そこにあった隙間をなくしたため、ゴム溜まり自体がなくなりました。これによって前年のゴム廃棄量7,623kgを32%削減することができました。



成形中の押出機

■ 文部科学大臣表彰 科学技術賞を受賞

平成24年度科学技術分野の文部科学大臣表彰において、ロボディスペンサーND型に採用されている軸シールに関する発明により、当社の小野社長と橋間隆(技術部)が科学技術賞(技術部門)を受賞しました。

この文部科学大臣表彰は、我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的に、科学技術に関する研究開発、理解増進等において著しい成果を収めた人々を顕彰するものです。



文部科学大臣表彰を受賞

受賞の対象となった技術は、当社のロボディスペンサーND型に採用されているものです。軸シールが挿入されているハウジングの位置を入れ換えるだけで摺動位置を移動させることができる構造のため、摩耗したシャフトを交換することなく容易にシール性能を復帰させることができます。これによりシャフトの廃棄回数を低減できる点が評価されました。

■ 「お客様第一」に全社で取り組んだ復旧支援事業

東日本大震災の発生から1年以上経過し、復旧が徐々に本格化してきました。そのような中、当社は復旧支援事業として、八戸環境クリーンセンター様向けに39台(3月)、巨理名取共立衛生処理組合様向けに19台(9月)、そして福島市堀河町終末処理場様には放射性物質を含む下水汚泥減容化設備用(12月)などに、それぞれモノポンプを納入しました。復旧支援事業は当社の大きな使命として取り組んでおり、顧客満足を得られるよう力を注いでいます。



お客様へ納入待ちの復旧支援ポンプ

■ 滋賀労働安全衛生表彰

当社滋賀事業所が滋賀労働局から平成24年度労働安全衛生表彰「滋賀労働局長奨励賞」を受けました。

これは、滋賀県内の企業で安全衛生に特に力を入れ成果を出している企業を表彰する制度です。経営者と従業員が一体となって安全衛生活動を活発に推進し、高い水準で改善に取り組んでいる点が評価され、初の受賞となりました。



「滋賀労働局長奨励賞」を受賞

■ インターンシップで工学系学生を受け入れ

企業研修活動であるインターンシップに当社を希望する4名の工学系学生を、8月に2週間の日程で滋賀事業所の技術関係4グループで受け入れました。

滋賀県立大学、兵庫県立大学、福井高専、舞鶴高専から各1名が研修に参加し、モノポンプの開発や設計、機械加工の業務を体験しました。

当社にとっても学生や学校と交流できる良い機会となりました。



インターンシップの学生(前列)と受入グループ

本社

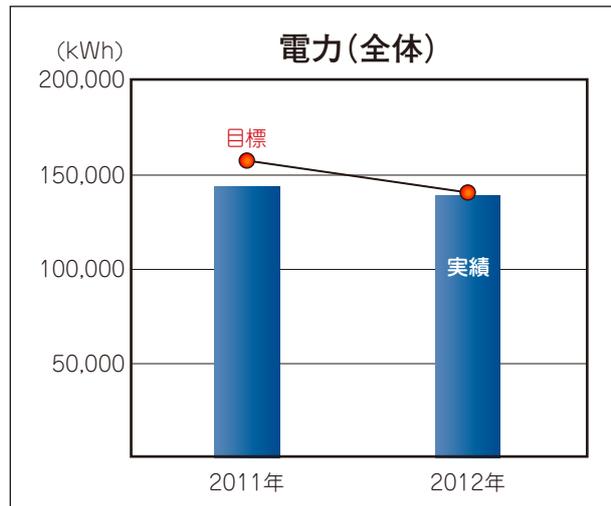
環境側面	2011年		2012年	
	目標	実績	目標	実績
電力(kWh)(全体)	162,849	145,367	142,460	140,092
電力(kWh)(テスト場使用量除外)	162,190	144,500	141,610	139,253

2012年度の環境目標は、2010年度の年間購入電力量(165,500kWh)の-4%でしたが、その後関西電力から夏期に節電要請(7月~9月のデマンド値を2010年実績値に対し15%削減)がありました。また冬期は経済産業省の想定を目安に2010年度実績値に対しデマンド値6%削減を自主目標として設定しました。

これらに対応すべく、節電対策として

- ・応接室の室外向け窓ガラスを二重サッシ化
- ・タスクライトを執務室に導入し、必要な照度を確保しながら天井灯の一部を状況に応じて減灯

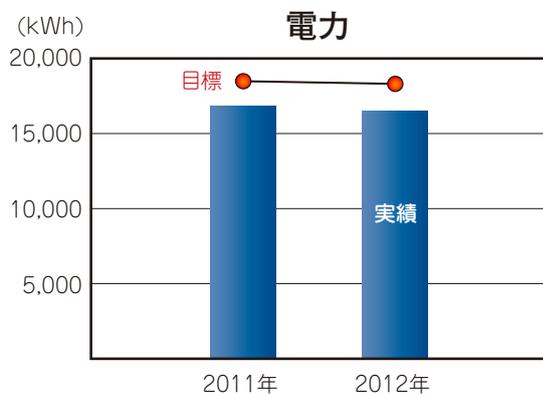
・サーバー室と隣室の間に換気扇(2箇所)を設け、サーバーの廃熱を利用して、エアコンの電力を節約などの施策を実施しました。この結果、購入電力量は2010年度比で-15.9%(前年度比-3.6%)を達成しました。



営業部

環境側面	2011年		2012年	
	目標	実績	目標	実績
電力(kWh)(全体)	189,596	167,371	185,727	165,930
コピー用紙(kg)	2,324	2,099	2,058	2,062

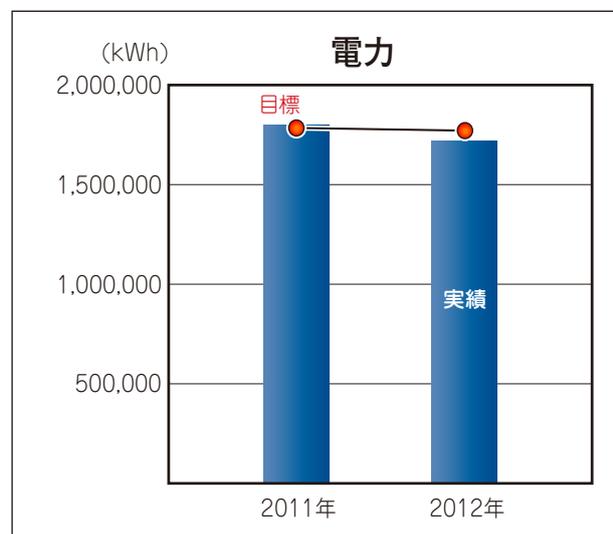
電力消費量は目標を大きく上回り10%以上の削減となりました。昨年と同様に東日本大震災の影響で電力の節減・節約が、通常の活動となっています。コピー用紙に関しましては、僅かに目標達成には及びませんでしたが、これらの数値を2007年と比較すると電力で約19%・コピー用紙で約32%の削減となっています。2013年度は電力・コピー用紙とも2012年の実績を目標値として設定し、お客様の節電・省エネに役立つモノポンプの提案・販売に注力します。



滋賀事業所

環境側面	2011年		2012年	
	目標	実績	目標	実績
電力(kWh)(全体)	1,765,991	1,776,015	1,740,495	1,729,011

エネルギー消費量、廃棄物量共に2011年より2012年は減少しました。関西電力からの節電要請により、自家発電や冬期の灯油ストーブなど他のエネルギーを使用したことも要因ですが、各サイト毎に節電に取り組んだことが大きいと考えられます。使用した全エネルギー(灯油、ガス、電力)を熱量換算しても2011年に比べて減少しています。



当社の活動

- 滋賀工場でISO14001認証取得に向けたエコプロジェクト発足/環境方針制定
- 滋賀工場ISO14001認定取得
- 環境報告書2001発行
- 全社に拡大してISO14001認定取得を目指すことに決定、全社環境綱領の制定
- 拡張監査・滋賀工場更新審査
- 全社ISO14001認定取得
- 化学物質管理委員会発足
- グリーン調達推進委員会発足、説明会開催
- 化学物質管理規定発行
- 滋賀工場に環境適合機能を誇る技術研究所を開設
- アスベスト不使用で代替品に切り替え、ホームページでもアスベスト不使用宣言
- ノンタルエポキシ塗料、鉛フリー塗料に切り替え下水道事業団仕様に対応
- 環境報奨規定を制定
- 本社ビルを環境適合機能化ビルにリニューアル
- 技術研究所で太陽光発電システムを稼働
- 神戸本社で太陽光発電システムを導入
- 製品/ヘイシンロボディスペンサーシリーズに分解・洗浄性を高め、残液ロス低減の新製品をラインアップ
- 環境材料分科会を滋賀工場で開催（滋賀県東北部工業技術センター主催）
- サービスアネックス工場を環境に配慮してリニューアル
- 滋賀工場に環境最適機能を誇るヘイシンテクノベルクテクニカルセンターを開設
- 本社の外構を環境に配慮してリニューアル
- 製品/脱水ケーキ圧送用途で環境に優しいNZF型ポンプを新発売

世の中の動き

- 1998
 - 地球温暖化対策推進法制定
- 1999
 - PRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握および管理の改善の促進に関する法律)制定
- 2000
 - 環境型社会形成推進基本法制定
 - グリーン購入法制定
 - 建設資材リサイクル法制定/食品リサイクル法制定
 - 資源有効利用促進法制定
- 2001
 - 環境省発足
 - 家電リサイクル法施行
- 2002
 - PRTR法完全施行
 - 土壌汚染対策法制定
 - エネルギー政策基本法制定
 - 地球温暖化対策推進法改正
- 2003
 - WEEE(EU廃電気電子機器リサイクル指令)発効
 - RoHS(EU電気電子機器危険物質使用制限指令)発効
 - 首都圏ディーゼル車規制施行
 - 環境教育推進法施行
- 2004
 - 気候変動枠組条約第10回締結国会議(COP10 アルゼンチン)
 - 国際環境規格ISO14001-2004年版発行
 - 大気汚染防止法改正
- 2005
 - 自動車リサイクル法完全施行
 - 京都議定書発効
 - 日本国際博覧会「愛・地球博」が愛知県を舞台に開催
 - COP11 カナダ・モントリオールで開催
- 2006
 - COP12 ケニア・ナイロビで開催
 - RoHS指令開始(EU)
 - REACH採択(EU)
- 2007
 - G8ハイリゲンダムサミット開催(ドイツ)
 - COP13 インドネシア・バリで開催
 - バリロードマップ採択
 - 食品リサイクル法改正
 - フロン回収破壊法改正

当社の活動

- 滋賀工場オープンカンパニーを開催
- 製品/環境に優しいハイシンドラムポンプシステムのペールシリーズを新発売
- 6月5日を「兵神装備環境の日」として第1回環境大会を開催
- 騒音や排ガスを低減した、大型展示車を製作
- 第3回発明大会にて「メタンハイドレードについて」記念講演実施
- 技術研究所に、地下水を利用した空調ファンコイルを設置

- 省エネや安全に配慮した新しい営業展示車を製作
- 浄水場の薬液注入用ポンプ装置「ハイシンモノポンプ 薬注ユニット オールinワン」を発売
- 製品組立工場内に、作業環境を改善する「作業ルーム」を設置

- 本社ビルを省エネを主眼に全面リニューアル
- 社員パソコンに、社外から遠隔操作可能なシンククライアント機能を導入
- 太陽電池、LEDの製造に貢献する「ハイシンマイクロディスペンサー」発売

- 食品製造に貢献するハイジェニックシリーズ「NHL型」、二次電池製造に貢献する新材質「アルミナセラミックローター」を発売
- 夏期・冬期に節電対策を実施
- 日経ニューオフィス賞「近畿ニューオフィス賞特別賞」を受賞

- 食品や薬品の包装技術を支える短型ポンプ「NHL-G型」、耐摩耗性に優れた下水向けポンプ「NE88型」を発売
- 電力不足に対応するため、太陽光発電システムとガスコージェネレーションシステムを導入
- ロボディスペンサーND型に採用されている軸シールに関する発明により、文部科学大臣表彰 科学技術賞を受賞
- 東日本大震災の被災地向け復旧支援事業として、東北各地の下水処理施設にモノポンプを納入

世の中の動き

2008

- 京都議定書約束期間スタート
- 「エネルギーの使用の合理化に関する法律」及び「地球温暖化対策推進法」改正
- G8洞爺湖サミット開催(日本)
- 化学物質に関する欧州連合(EU)の「REACH(リーチ)規制」が本格施行
- 東京国際環境会議開催
- 国連環境計画(UNEP)が「環境版ニューディール政策」を提唱
- 全国型エコ・アクション・ポイント開始(環境省)

2009

- <国内>
- 新型インフルエンザが流行
 - エコカー減税と高速道路料金上限1000円の割引を実施
 - 太陽光発電の買取制度、始動
 - エコポイントでグリーン家電の買い替え促進
- <海外>
- COP15/MOP5、コペンハーゲンで開催
 - 米国を中心に、環境分野への重点的な投資で景気回復や雇用創出を図る「グリーンニューディール」が始動
 - EUで、白熱電球の販売禁止令が発令される
 - 7月の世界の海水温が過去最高を記録

2010

- <国内>
- 生物多様性条約の第10回締約国会議(COP10)名古屋会議の開催
 - 国内高速道路の一部無料化社会実験が開始
 - 国内緊急経済対策として住宅エコポイントが3月から申請受付が開始
- <海外>
- EU、2020年までのエネルギービジョンをまとめた新戦略を公表

2011

- <国内>
- 福島第一原発の事故と、原子力発電の見直しおよび自然エネルギーへの転換加速
 - 電力会社からの節電要請、計画停電の実施
 - 再生可能エネルギー促進法が制定
- <海外>
- 福島原発事故で欧州に脱原発の動き
 - タイで大規模な洪水が発生、多くの工場で操業停止
 - 世界人口が70億人突破

2012

- <国内>
- 京都議定書第一約束期間が終了し、改正京都議定書を採用(COP18)
 - 白熱電球の国内生産が終了
 - 三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興ビジョン
- <海外>
- 中国南部で河川にカドミウムを垂れ流し、市民はペットボトルに殺到
 - 北京市を覆う厚いスモッグ、「PM2.5」が403の数値を示し米大使館が「有害」との判断
 - 「国連持続可能な開発会議(リオ+20)」20年ぶりにブラジルで開催。国連加盟188ヶ国参加

Q1:この環境報告書をお読みにってどうお感じになりましたか。(1つだけ○をつけてください)

1. 読みやすさはいかがでしたか?

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い

ご意見・ご要望があればお書きください。

2. 内容はいかがでしたか?

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い

ご意見・ご要望があればお書きください。

3. 兵神装備の環境問題への取り組みはどう評価されましたか?

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い

ご意見・ご要望があればお書きください。

4. この環境報告書をお読みにって、物足りない内容や改善した方が良い点がありましたら、具体的にお聞かせください。

Q2:兵神装備の環境問題の取り組みについて、どのようなことをご希望されますか?具体的にお聞かせください。

Q3:この環境報告書をどのようなお立場でお読みにっていらっしゃいますか?

- 1.金融・投資関係 2.格付機関 3.行政関係 4.事業所近隣住民 5.製品購買関係 6.環境の専門家
7.報道関係 8.企業の環境担当 9.学生 10.製品ユーザー 11.その他具体的に()

ご協力ありがとうございました。

お差し支えない範囲でご記入をお願いいたします。

(ふりがな)
お名前

ご住所 〒

ご職業・ご勤務先

TEL:

FAX:

E-Mail: